国語科　年間指導計画（1年）

学校で育成を目指す資質・能力	学習の基盤となる資質・能力	現実的な諸課題に対応して求められる資質・能力
	＜言語能力＞	＜自分づくり＞
国語科と関連付けた資質・能力	○ 感じたことを言葉にする力 ○ 感情語彙の豊かさ ○ 身近な語彙の豊かさ ○ 伝え合うことで自分の考えを深化させる力 ○ 相手の思いを受け止めて聞く力	○ 主体性・積極性 ○ 伝え合うことで自分の考えを深化させる力 ○ 他者を理解する態度・自己を理解する姿勢 ○ 自分らしさを発揮しようとする姿勢
学習指導要領における目標　知識及び技能	社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。	
学習指導要領における目標　思考力、判断力、表現力等	筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを確かなものすることができるようにする。	
学習指導要領における目標　学びに向かう力、人間性等	言葉がもつ価値に気付くとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。	

| 1年 | | |

国語科　年間指導計画（２年）

学校で育成を目指す資質・能力	学習の基盤となる資質・能力	現実的な諸課題に対応して求められる資質・能力
	＜言語能力＞	＜自分づくり＞
国語科と関連付けた資質・能力	○ 感じたことを言葉にする力 ○ 感情語彙の豊かさ ○ 身近な語彙の豊かさ ○ 伝え合うことで自分の考えを深化させる力 ○ 相手の思いを受け止めて聞く力	○ 主体性・積極性 ○ 伝え合うことで自分の考えを深化させる力 ○ 他者を理解する態度・自己を理解する姿勢 ○ 自分らしさを発揮しようとする姿勢

学習指導要領における目標	
知識及び技能	社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。
思考力、判断力、表現力等	論理的に考える力や共感したり想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
学びに向かう力、人間性等	言葉がもつ価値に認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。

２年

月	4月			5月					6月				7月							8・9月					10月						11月					12月						1月			2月				3月		時数合計
	見えないだけ	アイスブラネット	「聞く」「問いを立てながら聞く」	枕草子	多様な方法で情報を集めよう	漢字１ 熟語の構成	漢字に親しもう１	クマゼミ増加の原因を探る	魅力的な提案をしよう	漢字に親しもう２	文法への扉１ 単語をどう分ける？	メディアを比べようして メディアの特徴を生かして	短歌に親しむ	短歌を味わう	言葉の力	言葉１・類義語・対義語・多義語	言葉を比べよう	読書を楽しむ	翻訳作品を読み比べよう	「読書コラム「わからない」は人生の宝物」	益土産	字のない葉書	聞き上手になろう	表現を工夫して書こう	「推敲」―表現の効果を考える	言葉２ 敬語	漢字に親しもう１ 同じ訓・同じ音をもつ漢字・	漢字に親しもう３	―モアイは地球の未来語る	根拠の適切さを考えて書こう	漢字に親しもう４	「討論」―異なる立場から考える	立場を尊重して話し合おう	音読を楽しもう 月夜の浜辺	音読を楽しもう 平家物語	「扇の的」―平家物語―	「仁和寺にある法師」―徒然草―	漢詩の風景	君は「最後の晩餐」を知っているか	「最後の晩餐」の新しさ	魅力を効果的に伝えよう	漢字に親しもう５	文法への扉２ 走る、走らない、走ろうよ。	研究の現場にようこそ	読書案内 本の世界を広げよう	走れメロス	漢字に親しもう６	文法への扉３ 一字違いで大違い	言葉３ 話し言葉と書き言葉	漢字３ 送り仮名	国語の学びを振り返ろう	木	学習を振り返ろう	教科書での配当時数：120h（書写：20h） 標準授業時数：140h（書写：20h）
配当時間	6			14					12				11							13					16						11					10						9			13				5		120
資質・能力の三つの柱 / 知識及び技能 / 言葉の特徴や使い方に関する事項 / (1)ア 言葉には、相手の行動を促す働きがあることに気付くこと。									○														○	○																											○
(1)イ 話し言葉と書き言葉の特徴について理解すること。																																														○					
(1)ウ 第１学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字のうち３５０字程度から４５０字程度までの漢字を読むこと。また、学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使うこと。						○	○			○																○	○			○								○					○				○			
(1)エ 抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。	○	○											○	○		○	○									○							○				○					○							○
(1)オ 単語の活用、助詞や助動詞などの働き、文の成分の順序や照応など文の構成について理解するとともに、話や文章の構成や展開について理解を深めること。								○			○										○																		○						○	○			○		
(1)カ 敬語の働きについて理解し、話や文章の中で使うこと。																								○	○	○																									○
情報の扱い方に関する事項 / (2)ア 意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解すること。			○																									○	○		○	○					○														○
(2)イ 情報と情報との関係の様々な表し方を理解し使うこと。					○							○																										○											○		
我が国の言語文化に関する事項 / (3)ア 作品の特徴を生かして朗読するなどして、古典の世界に親しむこと。																																	○	○	○	○														
(3)イ 現代語訳や語注などを手掛かりに作品を読むことを通して、古典に表れたものの見方や考え方を知ること。				○																													○	○																
(3)エ 本や文章などには、様々な立場や考え方が書かれていることを知り、自分の考えを広げたり深めたりする読書に生かすこと。															○			○	○	○		○																			○	○								
思考力、判断力、表現力等 / A 話すこと・聞くこと / A ア 目的や場面に応じて、社会生活の中から話題を決め、異なる立場や考えを想定しながら集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討すること。			○																												○																			
A イ 自分の立場や考えが明確になるように、根拠の適切さや論理の展開などに注意して、話の構成を工夫すること。									○																																										○
A ウ 資料や機器を用いるなどして、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫すること。									○																																										
A エ 論理の展開などに注意して聞き、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめること。			○																				○																												○
A オ 互いの立場や考えを尊重しながら話し合い、結論を導くために考えをまとめること。																															○	○																			
B 書くこと / B ア 目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、多様な方法で集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にすること。				○	○							○																																						
B イ 伝えたいことが分かりやすく伝わるように、段落相互の関係などを明確にし、文章の構成や展開を工夫すること。																																	○													○				
B ウ 根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えたり、表現の効果を考えて描写したりするなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫すること。													○											○			○									○					○								○
B エ 読み手の立場に立って、表現の効果などを確かめて、文章を整えること。																									○																									○
B オ 表現の工夫とその効果などについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだすこと。																																					○							○					
C 読むこと / C ア 文章全体と部分との関係に注意しながら、主張と例示との関係や登場人物の設定の仕方などを捉えること。		○						○																																											○
C イ 目的に応じて複数の情報を整理しながら適切な情報を得たり、登場人物の言動の意味などについて考えたりして、内容を解釈すること。												○									○												○			○	○					○								
C ウ 文章と図表などを結び付け、その関係を踏まえて内容を解釈すること。								○																																											
C エ 観点を明確にして文章を比較するなどし、文章の構成や論理の展開、表現の効果について考えること。												○	○	○				○				○						○				○			○	○	○														○
C オ 文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりすること。				○									○		○			○										○						○						○		○							○	
学びに向かう力、人間性等 / 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。	○																																																		
言語活動（A 話すこと・聞くこと B 書くこと C 読むこと）		C	A	BC	B			C	A			BC	BC	C	C				C		C	C	A	B	B				C	B		A	A			C	BC	C	C	C	B			C		B			B				C	ABC

横浜版での呼び方：知識・技能

横浜版での呼び方：思考・判断・表現

主体的に学習に取り組む態度

書写
1　行書で書こう 〈ねらい〉○点画の省略を理解して書くことができる。○筆順の変化を理解して書くことができる。○これまでに学習してきた行書の特徴を理解して書くことができる。 ２行書と仮名を調和させ て書いてみよう 〈ねらい〉○点画の連続と配列を理解して書くことができる。○行書に調和する仮名の筆使い，字形を理解して書くことができる。○「いろは歌」や五十音表について理解することができる。○行書と行書に調和する仮名の書き方を理解して，速く書くことを意識することができる。 ○行書と仮名の調和や配列を理解して書くことができる。 ３学習活動や日常生活に生かして書こう 〈ねらい〉○目的や必要に応じた書き方をするにはどのような点に注意するとよいか，話し合うことができる。○文字の大きさや配列を理解して，読みやすく書くことができる。○目的や必要に応じて，効果的に伝える工夫の仕方を理解することができる。 ○読み手を意識して，新聞を書くことができる。○伝える相手を意識して，掲示物に案内を書くことができる。○伝える相手を意識して，書式や配列を理解して，案内状を書くことができる。 ◇書き初めを書く 〈ねらい〉○行書の特徴や配列を理解して書くことができる。

書写　20ｈ

国語科　年間指導計画（３年）

学校で育成を目指す資質・能力	学習の基盤となる資質・能力	現実的な諸課題に対応して求められる資質・能力
	＜言語能力＞	＜自分づくり＞
国語科と関連付けた資質・能力	○ 感じたことを言葉にする力 ○ 感情語彙の豊かさ ○ 身近な語彙の豊かさ ○ 伝え合うことで自分の考えを深化させる力 ○ 相手の思いを受け止めて聞く力	○ 主体性・積極性 ○ 伝え合うことで自分の考えを深化させる力 ○ 他者を理解する態度・自己を理解する姿勢 ○ 自分らしさを発揮しようとする姿勢
学習指導要領における目標　知識及び技能	社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。	
学習指導要領における目標　思考力、判断力、表現力等	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	
学習指導要領における目標　学びに向かう力、人間性等	言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。	

月	4月			5月					6月				7月							8・9月					10月						11月					12月							1月		2月		3月	時数合計
３年	世界は美しいと	握手	評価しながら聞く	「論語」から学び時に之を習ふ	書こう文章の種類を選んで	漢字１熟語の読み方	漢字に親しもう１	作られた「物語」を超えて	説得力のある構成を考えよう	漢字に親しもう２	文法への扉１すいかはいくつ必要？	実用的な文章を読もう報道文を比較して読もう	俳句の可能性	俳句を味わう	言葉を選ぼう	言葉１和語・漢語・外来語	読書を楽しむ	「私の一冊」を探しにいこう	本の世界を広げよう	ためになること？どんなこと？	挨拶原爆の写真によせて	故郷	聞き上手になろう	言葉２慣用句・故事成語ことわざ・故事成語を整える「推敲」論理の展開	漢字２漢字の造語力	漢字に親しもう３	人工知能との未来	人間と人工知能と創造性	多角的に分析して書こう	漢字に親しもう４	「議論」話し合いを効果的に進める	合意形成に向けて話し合おう	音読を楽しもう初恋	和歌の世界	音読を楽しもう古今和歌集仮名序	君待つと万葉・古今・新古今	夏草「おくのほそ道」から	古典名句・名言集	誰かの代わりに	情報を読み取って文章を書こう	漢字３漢字のまとめ	漢字に親しもう５	文法への扉２「ない」の違いがわからない？	本は世界への扉	読書案内本の世界を広げよう	温かいスープ	わたしを束ねないで	三年間の歩みを振り返ろう	漢字に親しもう６	学習を振り返ろう	教科書での配当時数：90h（書写：10h） 標準授業時数：105h（書写：10h）
配当時間	6			11					10				7							10					10						12					8							5		7		4	90
資質・能力の三つの柱　知識及び技能　言葉に関する事項　(1)ア 第２学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を読むこと。また、学年別漢字配当表に示されている漢字について、文や文章の中で使い慣れること。						○	○			○															○	○			○										○	○							○		知識・技能
(1)イ 理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、慣用句や四字熟語などについて理解を深め、話や文章の中で使うとともに、和語、漢語、外来語などを使い分けることを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。	○	○											○		○						○			○							○						○							○	○				
(1)ウ 話や文章の種類とその特徴について理解を深めること。					○								○	○																																		
(1)エ 敬語などの相手や場に応じた言葉遣いを理解し、適切に使うこと。																							○																						○		○	
(2)ア 具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めること。								○																○				○		○	○							○										○	
(2)イ 情報の信頼性の確かめ方を理解し使うこと。			○						○		○															○	○																					
(3)ア 歴史的背景などに注意して古典を読むことを通して、その世界に親しむこと。				○																											○	○	○	○	○														
(3)イ 長く親しまれている言葉や古典の一部を引用するなどして使うこと。																																	○	○	○														
(3)ウ 時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いについて理解すること。															○																																	○	
(3)オ 自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解すること。																	○	○	○	○		○																					○	○	○				○	
思考力、判断力、表現力等　A 話すこと・聞くこと　Aア 目的や場面に応じて、社会生活の中から話題を決め、多様な考えを想定しながら材料を整理し、伝え合う内容を検討すること。			○																																													横浜版での呼び方	思考・判断・表現
Aイ 自分の立場や考えを明確にし、相手を説得できるように論理の展開などを考えて、話の構成を工夫すること。																																															○	
Aウ 場の状況に応じて言葉を選ぶなど、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫すること。																																													○		○	
AエI 話の展開を予測しながら聞き、聞き取った内容や表現の仕方を評価して、自分の考えを広げたり深めたりすること。			○																				○																									
Aオ 進行の仕方を工夫したり互いの発言を生かしたりしながら話し合い、合意形成に向けて考えを広げたり深めたりすること。																													○	○																		
思考力、判断力、表現力等　B 書くこと　Bア 目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、集めた材料の客観性や信頼性を確認し、伝えたいことを明確にすること。					○																																											
Bイ 文章の種類を選択し、多様な読み手を説得できるように論理の展開などを考えて、文章の構成を工夫すること。					○								○															○					○											○			
Bウ 表現の仕方を考えたり資料を適切に引用したりするなど、自分の考えが分かりやすく伝わる文章になるように工夫すること。													○															○																				○
BI 目的や意図に応じた表現になっているかなどを確かめて、文章全体を整えること。																								○																								
Bオ 論理の展開などについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだすこと。																																						○									
C 読むこと　Cア 文章の種類を踏まえて、論理や物語の展開の仕方などを捉えること。		○						○																																								
Cイ 文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えること。		○																				○			○	○																						
Cウ 文章の構成や論理の展開、表現の仕方について評価すること。								○					○	○							○										○			○														
CエI 文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもつこと。				○														○			○	○						○	○							○		○					○		○	○			○	
学びに向かう力、人間性等　言葉がもつ価値を認識するとともに，読書を通して自己を向上させ，我が国の言語文化に関わり，思いや考えを伝え合おうとする。	○																																															主体的に学習に取り組む態度
言語活動（A 話すこと・聞くこと　B 書くこと　C 読むこと）		C	A	C	B			C	A			C	C	C				C			C	C	A					C	C	B		A	A				C	BC		C	B				C						

書　写

１行書を深めよう
〈ねらい〉○点画の変化と連続を理解して書くことができる。○次の文字への筆脈を理解して書くことができる。

２行書と仮名を調和させて書こう
〈ねらい〉○点画の連続を理解して書くことができる。○配列を理解して書くことができる。○行書と仮名の調和や配列を理解して書くことができる。

３身のまわりの多様な表現をとおして文字文化の豊かさにふれ，効果的に文字を書こう
〈ねらい〉○身のまわりで見かける，文字のもつ表現効果について考えることができる。○三年間の学習を生かして効果的に書き，日常生活に生かす意識をもつことができる。

◇書き初めを書く
〈ねらい〉○行書の特徴や配列を理解して書くことができる。○中学校での書写学習のまとめとして，行書で書くことができる。

書写　10h